

いばらきネットモニター 自転車損害賠償責任保険等の加入状況に関するアンケート

1 調査目的

自転車損害賠償責任保険等に関して、その必要性の認識や加入状況等を把握し、今後の施策の参考にするために実施するものです。

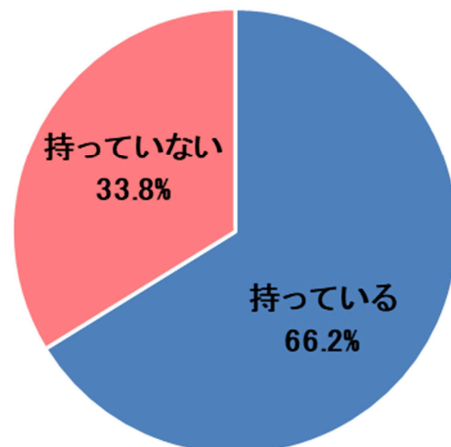
なお、同様のアンケートを平成 31 年 3 月にも行いました。本調査はその後の動向を確認するために行うものです。

2 結果の概要

- ・自転車損害賠償責任保険等の認知度は全体の 9 割を超えており、認知度は高いと思われる。
- ・自転車損害賠償責任保険等に「加入している」は全体の約 4 割。
- ・自転車損害賠償責任保険等に加入することについては、「とても必要だと思う」と「必要だと思う」を合わせて約 9 割の方が保険加入の必要性を感じている。

【問 1】あなたは、自転車を保有していますか。

(n=340)



(参考：平成 31 年 3 月実施時)

持っている 63.8%

持っていない 36.2%

「持っている」(66.2%) との回答が 6 割以上で、「持っていない」(33.8%) よりも多かった。

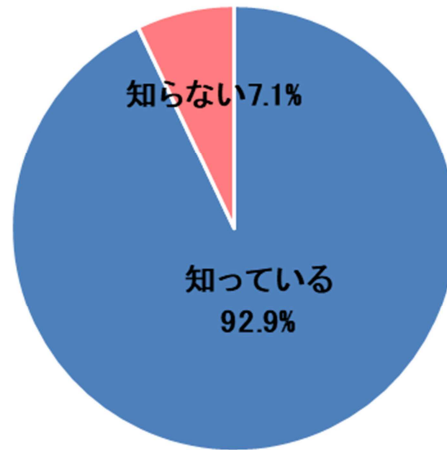
<年代別の保有者> 表中()内の数値は、平成 31 年 3 月実施時の調査結果

	回答数(人)	持っている(人)	比率(%)
16～19 歳	3 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
20～29 歳	17 (4)	11 (3)	64.7 (75.0)
30～39 歳	61 (37)	33 (23)	54.1 (40.4)
40～49 歳	78 (57)	60 (38)	76.9 (66.6)
50～59 歳	84 (57)	53 (31)	63.1 (54.4)
60～69 歳	46 (37)	34 (25)	73.9 (67.6)
70 歳以上	51 (40)	34 (28)	66.7 (70.0)

年代別に見ると、40 代(76.9%) が最も高く、次いで 60 代(73.9%)、70 歳以上(66.7%) が高くなっている。60 歳以上の高齢者が自転車を所有している割合が高く、高齢者の自転車利用が多いことが伺える。

【問2】あなたは、自転車の運行によって生じた他人の生命又は身体の損害を賠償するための保険（以下、自転車損害賠償責任保険等という）があることを知っていますか。

(n=340)



(参考：平成31年3月実施時)

知っている 86.2%

知らない 13.8%

自転車損害賠償責任保険等の認知度については、「知っている」(92.9%)の割合が9割を超えており、保険の認知度は高いといえる。

<年代別の認知度>

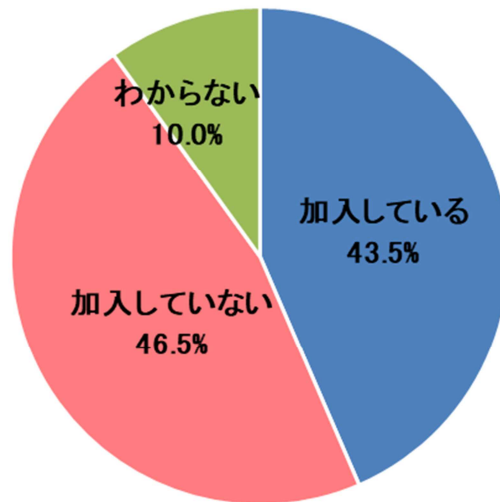
表中()内の数値は、平成31年3月実施時の調査結果

	回答数(人)	知っている(人)	比率(%)
16～19歳	3 (0)	2 (0)	66.7 (0.0)
20～29歳	17 (4)	14 (4)	82.4 (100.0)
30～39歳	61 (37)	52 (32)	85.2 (86.5)
40～49歳	78 (57)	75 (46)	96.2 (80.7)
50～59歳	84 (57)	78 (49)	92.9 (86.0)
60～69歳	46 (37)	45 (34)	97.8 (91.9)
70歳以上	51 (40)	50 (35)	98.0 (87.5)

自転車損害賠償責任保険等については、認知度が最も高かったのは70歳以上(98%)で、次いで60代(97.8%)であり、最も低かったのは16～19歳(66.7%)であった。

【問3】あなたは、自転車損害賠償責任保険等（自転車保険という名称のものだけでなく、自動車保険や火災保険などに特約で付帯されている個人賠償責任保険であって自転車事故の補償を対象とするものも含む）に加入していますか。

(n=340)



(参考：平成31年3月実施時)

加入している 37.9%
 加入していない 53.9%
 わからない 8.2%

自転車賠償責任保険等の加入状況については、「加入していない」(46.5%)が「加入している」(43.5%)を上回っている。

<年代別の加入率>

表中()内の数値は、平成31年3月実施時の調査結果

	回答数(人)	加入している(人)	比率(%)
16～19歳	3 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
20～29歳	17 (4)	8 (2)	47.1 (50.0)
30～39歳	61 (37)	26 (17)	42.6 (45.9)
40～49歳	78 (57)	47 (24)	60.3 (42.1)
50～59歳	84 (57)	30 (18)	35.7 (31.6)
60～69歳	46 (37)	19 (12)	41.3 (32.4)
70歳以上	51 (40)	18 (15)	35.3 (37.5)

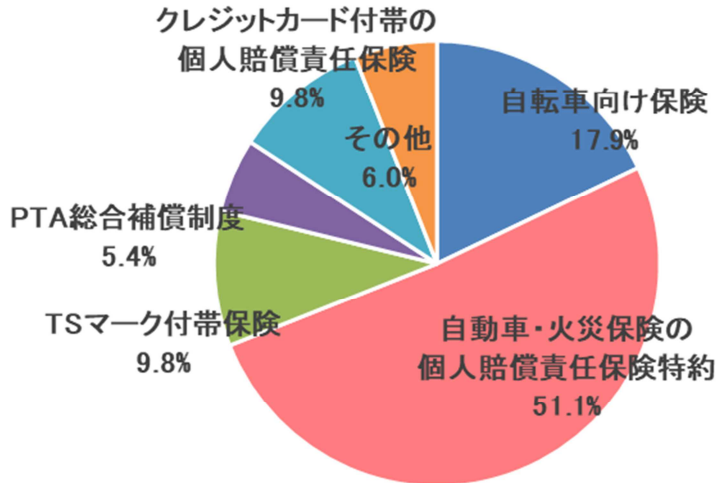
年代別の加入率では、40代(60.3%)、20代(47.1%)、30代(42.6%)の順であった。

認知度と加入率を比べてみた場合、自転車損害賠償責任保険等を92.9%の人が認知している中、自転車損害賠償責任保険等に「加入している」割合が43.5%であり、保険のことは知っているが、加入していない人が多い。

【問4】あなたは、どんな種類の保険に加入していますか。

【問3】で「加入している」と答えた人のみ回答（複数選択可）

(n=148)

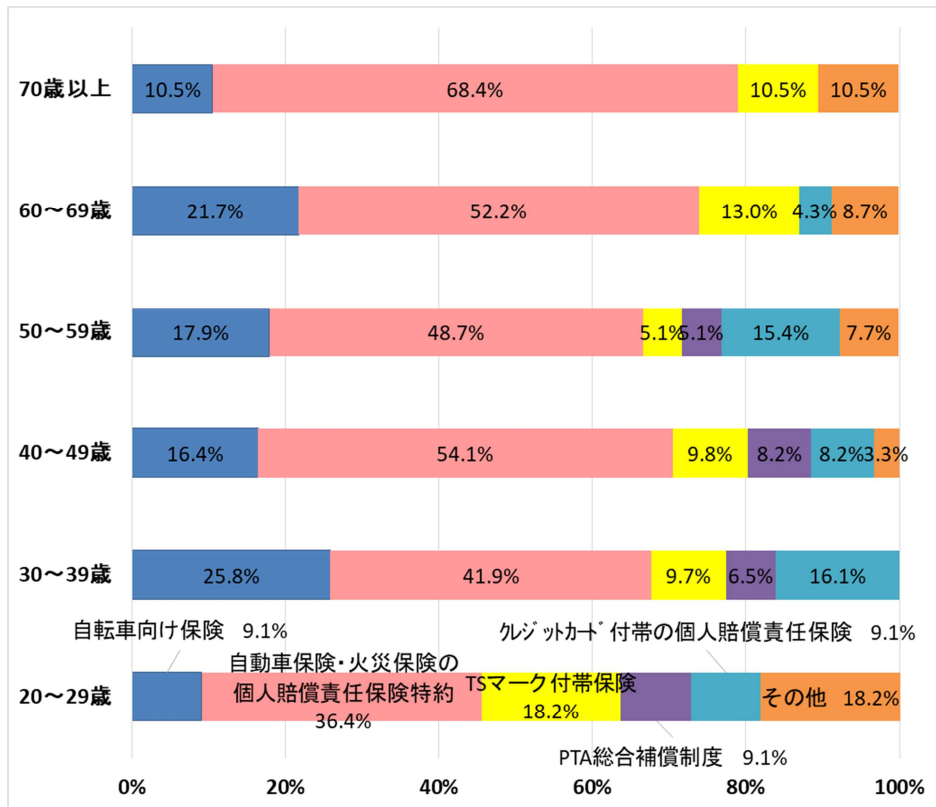


(参考：平成31年3月実施時)

自転車向け保険	18.5%
自動車・火災保険の特約	56.5%
TSマーク付帯	12.0%
PTA総合補償制度	2.8%
クレジットカード付帯	7.4%
その他	2.8%

加入している保険の種類では、「自動車・火災保険等の個人賠償責任保険特約」(51.1%)が最も多く、「自転車向け保険」(17.9%),「TSマーク付帯保険」「クレジットカード付帯の個人賠償責任保険」(9.8%)の順であった。また、その他としては、「マイカー共済」や「コープ共済」などの回答があった。

<年代別の加入している保険の種類>

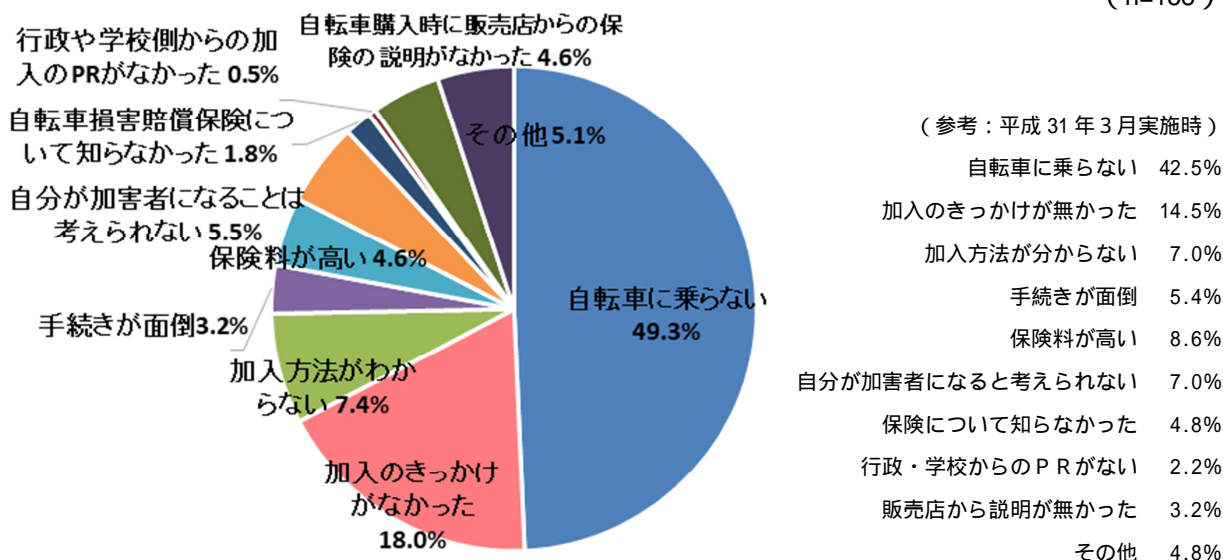


自転車向け保険の加入は、どの年代も自動車保険・火災保険等の個人賠償責任保険特約の加入率が一番高い。

【問5】あなたが自転車損害賠償責任保険に加入していない理由は何ですか。

【問3】で「加入していない」と答えた人のみ回答（複数回答可）

(n=158)

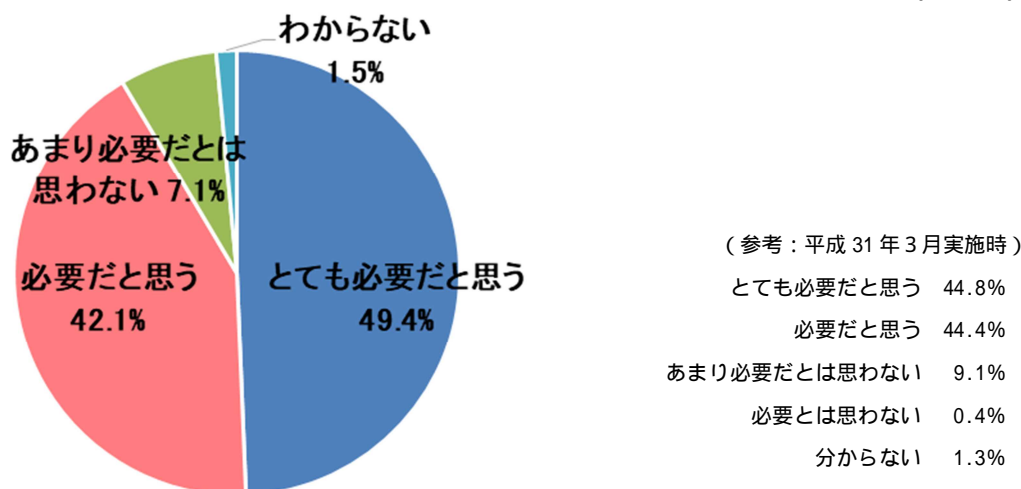


加入しない理由として、「自転車に乗らない」(49.3%)が最も多く、次いで「加入のきっかけがなかった」(18.0%)、「加入方法がわからない」(7.4%)、「自分が加害者になることは考えられない」(5.5%)の順であった。また、その他としては、「自転車を所有していない」、「ほとんど自転車に乗らない」などの回答があった。

加入していない理由として、「加入のきっかけがなかった」、「加入方法がわからない」、「自分が加害者になることは考えられない」の回答があり、広報・啓発活動を強化し、県民に対し、引き続き情報提供に努める必要がある。

【問6】あなたは、自転車損害賠償責任保険に加入することについてどう思いますか。

(n=340)



自転車損害賠償責任保険の加入については、「とても必要だと思う」(49.4%)と「必要だと思う」(42.1%)を合わせると9割以上の方が保険加入の必要性を感じている。「あまり必要だとは思わない」(7.1%)であり、必要性を感じていない人の割合は1割未満であった。

3 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期：令和2年4月24日(金)～5月6日(水)まで

調査方法：インターネット(アンケート専用フォームへの入力)による回答

モニター数：661名(県内在住者のみ)

回収率：51.4%(回収数340人)

回答者の属性：以下の通り。(百分率表示は小数点以下第二位を四捨五入しているため、ここの比率の合計は100%にならない場合がある。)

		人数(人)	比率(%)
全体(n)		340	100.0
地域別	県北	31	9.1
	県央	121	35.6
	鹿行	21	6.2
	県南	122	35.9
	県西	45	13.2
性別	男性	177	52.1
	女性	163	47.9
性・年齢別	16～19歳	3	0.9
	20～29歳	17	5.0
	30～39歳	61	17.9
	40～49歳	78	22.9
	50～59歳	84	24.7
	60～69歳	46	13.5
	70歳以上	51	15.0
職業別	自営業	26	7.6
	会社員	120	35.3
	団体職員	8	2.4
	公務員	11	3.2
	主婦・主夫	76	22.4
	学生	8	2.4
	無職	62	18.2
	その他	29	8.5

(2) 担当課

茨城県県民生活環境部生活文化課(安全なまちづくり推進室)

電話：029-301-2841 E-mail：seibun6@pref.ibaraki.lg.jp